

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和4年1月
タイトル	アート田 2021「コロナに勝つ!!」
水土里レポーター名	末吉町高松土地改良区 竹田 育夫

末吉町高松土地改良区では、平成19年から毎年、水土里サークル（多面的機能向上）の活動組織である高松地域活動隊と共同で、地区内の水田を利用し、黒米や赤米などを植えてアート田を作っています。

今年のデザインのテーマは、「コロナに勝つ!!」。

まさに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響が懸念される時期であったため、田植えは、土地改良区の役職員と高松地域活動隊の役員、水土里ネット鹿児島職員の職員で行いました。

6月25日、役員を中心にデザインに基づき、杭とビニールテープで区切って、細かい部分の手植えを行いました。

6月26日、残りの部分を参加者みんなで手分けして作業を行いました。当日は、天候にも恵まれ、無事に植えることができました。どんな絵が浮かんでくるか楽しみです。

途中、一番広い部分の色の苗が不足するかもしれないということで、急遽間隔を広げて植えるなどの対応を行い、無事に完了しました。

終了後は、地元の女性たちが、朝から仕込んで作った赤飯を参加者全員に振る舞い、労をねぎらいました。



8月7日、アート田を見下ろすやぐらを建てました。

稲も順調に生長し、アート田の全容が見えるようになりました。



10月22日、見事に実った稲を、来年の種もみ用として一部手刈りをして、残りはコンバインで刈り取りました。刈り取った稲は、全て混ぜ合わせて精米し、アート田の紹介と、炊き方を説明した用紙を入れて、袋詰めし、関係者等に配りました。



来年は、コロナが収束し、地域のみinnで田植えや稲刈り、作業後の交流会が開催されることを願っています。